

令和3年度 J A共済 交通事故医療研究助成対象の決定

| 研究テーマ  | 代表研究者                                |
|--|--------------------------------------|
| 重症外傷患者における、エコー画像解析と筋障害マーカーを用いた全身筋障害の早期評価手法の開発                      | 中野 秀比古（日立総合病院 救急集中治療科）               |
| Hybrid Emergency Room System (HERS) がもたらす重症頭部外傷患者の長期予後に関する前向き観察研究  | 光山 裕美（大阪急性期・総合医療センター 救急診療科）          |
| 外傷性頸部症候群における頸椎カラー固定の有効性に関する検討（ランダム化比較対照試験）                         | 古矢 丈雄（千葉大学医学部附属病院 整形外科）              |
| 脳震盪と神経血管炎症：長期的認知機能診断マーカーの開発と治療への展開                                 | 高瀬 創（横浜市立大学 脳神経外科）                   |
| ショックを呈する外傷患者の急性期蘇生における低用量バズプレシン投与と metabolic resuscitation の可能性を探る | 久志本 成樹（東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座 救急医学分野） |
| 高齢者軽症外傷患者における身体機能低下を予測する早期評価ツールの開発                                 | 中村 謙介（日立総合病院 救命救急センター）               |
| タブレット端末とスタイラスペンを用いた書字動作評価システムの開発                                   | 小山 恭史（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 整形外科学分野）  |
| 橈骨遠位端骨折後の日常動作復帰時期に指標作成とスマートフォンアプリを用いた評価システムの開発                     | 田中 雄太（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 整形外科学分野）  |
| トランスクリプトーム解析に基づいた外傷急性期凝固異常の新規分子ネットワーク病態解明                          | 松原 庸博（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）        |
| 電子光学的アプローチの応用による大動脈内バルーン遮断（REBOA）管理中の新たなモニタリング法の開発                 | 丸橋 孝昭（北里大学医学部 救命救急医学）                |
| 重症外傷患者の睡眠と早期リハビリテーションの関連   | 松尾 照美（佐賀大学医学部附属病院 看護部）               |
| 非重症外傷性脳損傷における脳内 glymphatic system の機能障害と高次脳機能障害の相関                 | 大谷 直樹（日本大学病院 脳神経外科）                  |

| 研究テーマ   | 代表研究者                                  |
|---|--|
| 脳外傷（びまん性軸索損傷）後の失調症に対する新たな歩行支援技術の開発～股関節屈曲・伸展トルクの調整による効果的な歩行改善効果の検討～  | 岡本 隆嗣（西広島リハビリテーション病院）                  |
| 人工知能による顔面骨骨折の診断補助システム   | 西本 聡（兵庫医科大学 形成外科）                      |
| 顎関節の動的安定化機構の解析－顔面外傷修復後の咀嚼・発語機能の長期維持を目指して－   | 吹野 恵子（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 咬合機能矯正学分野）  |
| 偽関節における骨 SPECT（Single Photon Emission Computed Tomography）を用いた定量評価  | 大江 啓介（神戸大学医学部附属病院 整形外科）                |
| 多発交通外傷に対するリハビリテーションとその効果を高めるためのマネジメント：医療ビッグデータを用いたリアルワールドリサーチ   | 百崎 良（三重大学大学院医学系研究科 リハビリテーション医学分野）      |
| 病院前でショックを評価する新たな指標、脳筋組織酸素飽和度（rSO <sub>2</sub> ）較差の検討  | 石田 健一郎（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター） |
| 外傷性凝固障害（trauma-induced coagulopathy：TIC）の病態理解に基づく新診断基準の策定   | 和田 剛志（北海道大学大学院医学研究院 侵襲制御医学講座 救急医学教室）   |
| 肺挫傷における損傷容積と凝固障害および必要輸血量の関連に関する検討   | 野邊 亮丞（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）          |
| 頭部外傷患者の網羅的遺伝子発現解析に基づいた新規治療法の確立  | 戸上 由貴（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）          |
| 大動脈遮断バルーン（resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta, REBOA）の新規蘇生治療戦略：超音波ドップラーでの遮断強度評価と血液浄化法による再灌流障害軽減 | 松村 洋輔（千葉県救急医療センター 集中治療科）               |
| 認知行動療法を用いた外傷性頸部症候群治療補助ソフトウェアの開発   | 黄金 勲矢（札幌医科大学 医学部 整形外科学講座）              |
| 外傷後の骨欠損に対する脂肪由来幹細胞を併用した新たな治療の試み   | 下川 寛右（金沢大学附属病院 整形外科）                   |
| 頭部外傷に対する水素治療の有効性とその作用機序の検討  | 大塚 陽平（防衛医科大学校 医学研究科 脳神経外科学講座）          |